

姫路顕栄教会

エピファニー・タイムス

【住所】〒671-1152 姫路市広畑区小松町 4-36

編集責任者 牧師・司祭 ミカエル小南 晃

大齋節の日々の歩み

～隠れたことを見ておられる神～

あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる。(マタイ福音書6:1-6)

コロナ感染症拡大防止のための緊急事態宣言が2月末で解除され、今月7日の主日からは教会で礼拝を共にすることができます。まずは嬉しい限りです。

しかし緊急事態宣言下での一人ひとりの信仰生活は、考えようによっては神様だけが見ておられる状況でもあったわけで、冒頭の聖句のように「隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる」礼拝であったと言えるかも知れません。

偽善を戒める教え

この聖句は大齋始日に読まれる福音書の一節であり、善行、施し、祈り、断食を人に見てもらおうとして行ってはならない。人からの誉れを受けることで既に報いを受けており、天の父のもとで報いを頂けないことになるという教えの一部です。

そして「隠れたことを見ておられる父が報いてくださる」善い行いに励みなさいというものです。人に見せて誉れを得ようとする善行とは「偽善」に他なりません。

大齋節という悔い改めと克己の期節にあたって、まずは神に対する誠実で真摯な姿勢が求められているのです。

故渡辺シスターの講演から

「置かれた場所で咲きなさい」などの著書で知られている故渡辺和子シスターからは神戸教区の婦人会大会や伝道集会などで何度か講演を聴いたことがあります。どの講演かは忘れましたが「隠れた業」ということに関連して印象に残っている話があります。

渡辺シスターが見習いのシスターであった頃、修道院に黙想に来る人々の朝食の世話を担当していた。朝、食堂のテーブルに宿泊者の朝食をセットしておく仕事であったが、起きて朝の祈りの後、宿泊者の食事の世話をし、すぐまたお御堂に行って礼拝があるというように、朝は大変忙しく、いつも礼拝にやっと間に合うぐらいしか時間がなかった。

そうした中でも自分なりに工夫して効率よく食事のセットを行えるようになり、少し落ち着く時間が出来るまでになった。そうした時、院長から呼ばれて「あなたは時間を無駄にしています」と言われて驚いた。無駄どころか節約して落ち着いて祈る余裕を作っているのに何故だろうと思った。

すると院長は「食器やナイフやフォークをセットする時、そこで食事をする人の為に祈っていますか。それをする事なくただ並べたのでは時間の無駄です」と言われた。

その後、お皿やナイフやフォークを置いて行く時、その日に修道院に来て黙想していく方々のことを思い、良き時が過ごせるようにと祈りながら、セットしていくようにした。

そうした時、時間は礼拝にぎりぎり間に合うだけだったが、せわしく慌ただしい思いはしなくなったという話でした。

私たちも隠れたことを見ておられる父の眼差しを覚えながら日々を歩みたいと思います。